

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 福寿万記の里

目標達成計画

作成日：令和 2 年 5 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域に施設が存在が根付いていない	地域に根付いた施設になる	積極的に地元の住民に対して、施設をしてもらえるようなイベントを実施したり、当施設の設備を利用してもらい、貢献していく。	12ヶ月
2	4	地域運営推進会議の定期開催と行政との連携不足	地域運営推進会議の定期開催と行政との連携強化	会議に行政の関係者を招待することで、施設と行政との連携を強化していく。	12ヶ月
3	14	他事業所との交流不足	他事業所との交流の活性化	地域運営推進会議に参加していただくなどの方法で交流を図り、共同で研修を行うなど、他の事業所との交流を活性化する。	12ヶ月
4	49	外出機会の減少	定期的な外出機会の確保	フロア単位でレクレーション計画を作成・実施し、そのフロアに入居している利用者様に合った外出支援を行う。	12ヶ月
5	6	身体拘束廃止に向けての取り組み	全職員の徹底した利用者の尊厳の確保	現在行っている講習に加え、様々な情報を入手し、身体拘束廃止に向けてより質の高い学びの場を職員に対して行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。